

地域・在宅看護論

【科目構成とねらい】

地域・在宅看護論は、地域包括ケアシステムの構築・推進を念頭に置き、地域で生活する人々と家族を理解し、地域における様々な場での暮らしを支える看護の基礎を学ぶ科目である。

地域で暮らしている人は、一時病気で入院・治療が必要になったとしても、治療を終えれば住み慣れた地域に戻っていく。したがって、病院と地域での看護を分断せず、対象となる人や家族が暮らす拠点としての「地域」をまず理解し、様々な場で様々な健康状態にある人々のその人らしい暮らしを支える看護を学べるよう、科目を構成した。

地域包括ケアシステムにおいては、看護師が働く場も多様である。したがって、地域で暮らす人々の多様な生活事象から、「感じ取る力」を使って人としての存在意義や生活の奥深さを理解することから始める。そして、「考え構成する力」を使って対象の意思決定支援や生活の再構築や質向上に向けた援助技術について学習する。

また、コミュニケーション論や家族論で学んだ知識・技術・態度を統合し、「表現（具現化）する力」を使って対象や家族の気持ちに寄り添い、家族を一単位として捉えたエンパワメントアプローチの基礎を身につける内容とした。

「地域・在宅で暮らす人々の理解」

看護の対象が暮らす地域の特性を知り、地域で暮らす人々を理解する。地域で暮らす人々がどのような暮らしを望んでいるか、地域でどのような自助・互助・共助・公助が行われているかを知る。地域包括ケアシステムの概要を理解し、看護の対象が暮らす地域でどのようにシステムが活用されているか、すべきかを考える。

「地域・在宅看護概論」

地域・在宅看護の概念や特徴、変遷と今日の課題を学ぶ。多様な場での看護、それを支える社会資源についても学び、対象者の生活を支えるための継続看護、訪問看護における看護師の役割や連携について学ぶ。さらに、看護の対象者の生活を支える家族を理解し、パートナーシップを基盤とした支援について学ぶ。

「地域・在宅でのその人らしい暮らしを支える看護」

療養者やその家族が置かれている状況の多様性を理解し、今後の病状変化の予測を踏まえて在宅療養者や家族の意思決定を促し、生活の質を維持・向上させていくために必要な看護を学ぶ。臨地実習の場で多く出会うであろう疾病・病態の特徴を取り上げ、アセスメントの視点、セルフマネジメント支援に向けた援助を学ぶ。セルフマネジメント、エンパワメントなど既習の理論や、社会資源の知識を活用しながら学習する。

「在宅看護技術」

地域で暮らす人や在宅で療養している人の健康段階・発達段階に応じた観察力、的確な判断力を身につける。在宅看護に必要な日常生活援助・医療的ケアの技術を学び、暮らしの場における物品の工夫や方法を考える。

校内実習では、訪問マナー、清潔ケア、移動（リフト）介助、栄養ケア、呼吸ケアを学ぶ。

また、講義時から意図的にグループワークやロールプレイを取り入れ、主体的に考える力、人に説明する力、多様な価値観を受け入れつつ合意形成する力を養う。

「ケアマネジメント」

在宅療養者とその家族が、地域包括ケアシステムの中でどのような社会資源を活用し、多職種と連携しながら生活しているか事例を基に主体的に考え、地域包括ケアシステムの実際を学ぶ。

「在宅看護の展開」

療養者と家族の事例展開を通し、生活者中心の価値観・人生観、自己決定、家族介護力、社会資源の活用に着目し看護を展開できる基礎的能力を養う。家族を一単位として捉え、強みの強化、課題に対する援助計画の立案、エンパワーメントアプローチを用いた指導案を作成する。

また、援助場面のロールプレイとデブリーフィングにより、自己決定を促す関わりについて省察する。

【目的】

地域包括ケアシステムの構築・推進を念頭に、地域で生活する人々と家族を理解し、地域における様々な場で対象と家族の暮らしを支える看護の基礎を学ぶ。

【目標】

1. 看護の対象が暮らす地域の特性を知り、人々の生活の多様性を理解する。
2. 地域包括ケアシステムの概要、地域での活用の実際を理解する。
3. 地域・在宅看護の概念や特徴、変遷と今日の課題を理解する。
4. 継続看護、訪問看護における看護師の役割や社会資源を理解する。
5. パートナーシップを基盤とした家族支援について理解する。
6. 療養者や家族との信頼関係構築や、自己決定を促すためのコミュニケーションを習得する。
7. 在宅看護に必要な日常生活援助・医療的ケア・生活の質向上のための援助技術を理解する。
8. 療養者と家族の事例展開を通し、生活者中心のエンパワーメントアプローチ、家族介護力、社会資源の活用に着目した看護を理解する。

【構成および計画】

< 講義 >

科目	単位数	履修時期		
		1年	2年	3年
地域・在宅で暮らす人々の理解	1	○		
地域・在宅看護概論	1	○		
地域・在宅でのその人らしい暮らしを支える看護	1		○	
在宅看護技術	1		○	
ケアマネジメント	1		○	
在宅看護の展開	1		○	

授業計画

科目名	地域・在宅で暮らす人々の理解		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 多様な場で暮らす人、療養する人を理解する。 2. その人らしい生活を送るための地域組織活動を理解する。 3. 地域での健康生活を支える多職種連携の意義と役割を理解する。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	多様な場で暮らす人の理解	地域とは 地域で暮らす人（個人・家族・組織など） 多様な場における地域活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会の構造と特性 ・ 地域の特性や保健活動の実際 	講義	専任教員*		
第 2 回	地域調査	地域調査（フィールドワーク） <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査する地域、場所（学校の周囲を主に） ・ 地域実地調査実施 ・ 地域調査結果のまとめ発表 ※レポート提出	演習	専任教員*		
第 3 回						
第 4 回	社会保障の変遷	地域の保健・医療・福祉の多様な機関、多職種連携	講義	専任教員*		
第 5 回		地域・在宅看護に関わる社会保障制度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健・医療・福祉における施策 ・ 療養生活を支える介護保険制度 	講義	専任教員*		
第 6 回	地域組織活動	地域包括ケアシステム <ul style="list-style-type: none"> ・ 変遷と概要 ・ 構成要素 ・ 自助・互助・共助・公助 ・ 日常生活支援総合事業 ・ 地域住民と様々な介護予防事業 	講義	専任教員*		
第 7 回		地域における人々の健康管理行動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所の活動と保健センターの活動 地域で関わる保健・医療・福祉の様々な専門職	講義	専任教員*		
第 8 回	評価					
評価方法		筆記・レポート				

授業計画

科目名	地域・在宅看護概論		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 地域・在宅看護の概念について理解する。 2. 多様な場でその人らしい暮らしを支える看護師の役割、社会資源について理解する。 3. 訪問看護制度や訪問看護ステーションの概要が理解できる。 4. 療養者を取り巻く家族も支援対象として捉えることができる。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第 1 回	地域と看護	地域・在宅看護の概念 ・対象 ・歴史と発展 ・基本理念と倫理	講義	専任教員*		
第 2 回	多様な看護の場 と看護師の役割	多様な地域・在宅看護の場と看護師の役割 多職種との連携・協働 ケアマネジメント	演習	専任教員*		
第 3 回		多様な地域・在宅看護の場と看護師の役割 グループ発表と討議				
第 4 回	地域・在宅看護 の実際	地域：保健所、行政の窓口、介護認定審査会 病院：地域医療連携室、地域ケア病棟、 各病棟の退院支援カンファレンス	講義	専任教員*		
第 5 回	地域・在宅看護 に必要な社会保 障制度	地域・在宅看護に必要な社会保障制度 ・介護保険制度 ・訪問看護制度（介護保険・医療保険） ・公費負担制度：難病、障害児・障害者 様々な社会資源 ・フォーマルサービス ・インフォーマルサービス 地域包括ケアシステム	講義	専任教員*		
第 6 回	地域組織活動	訪問看護の機能と役割 ・訪問看護サービスの仕組み ・訪問看護の展開 ・暮らしを支える支援と連携	講義	専任教員*		
第 7 回	家族看護	家族論と看護 ・療養者を介護する家族の理解とケア ・保健医療福祉チームの家族への支援 ・家族の価値観を尊重した看護 在宅看護の展望と課題 ※地域包括システム構築における対象の拡大	講義	専任教員*		
第 8 回	評価					
評価方法		筆記				

授業計画

科目名	地域・在宅でのその人らしい暮らしを支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 地域で暮らす又は在宅で療養する対象の状況に応じた生活の保障について学ぶ。 2. 様々な状態にある人がその人らしく暮らし QOL を維持・向上させていく看護の基本、社会資源活用を理解する。					
回	単 元	内 容		形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	対象の状況に応じた療養生活の保障	療養上のリスクマネジメントと対応 ・在宅療養におけるリスクの特徴と安全確保 ・サービス提供者の権利と保護		講義	専任教員*	
第 2 回	在宅療養における健康危機管理	24 時間体制 ・病状の予測と予防 ・急性症状への対応		講義	専任教員*	
第 3 回	障害を持ちながら生活する人の在宅看護 (精神障害)	在宅看護介入時期別の特徴 障害を持ちながら生活する人の在宅看護 ・移行支援・自立支援と QOL の維持向上 ・家族支援・社会資源の活用・社会復帰		講義	専任教員*	
第 4 回	障害を持ちながら生活する人の在宅看護	認知症高齢者の地域・在宅看護 ・認知症症状の日常生活への影響・安否確認 ・家族支援・虐待防止・権利擁護		講義	専任教員*	
第 5 回	(活動低下及び疾病再発予防)	生活習慣病の予防・疾病の悪化防止 機能障害の生活への影響 ・在宅リハビリテーション・合併症予防と対応 ・セルフマネジメント力の維持・QOL 向上 ・家族支援・自立支援と社会復帰		講義	専任教員*	
第 6 回	医療的ケアが必要な子どもと家族への支援	在宅療養を開始する重症心身障害児 ・健康管理と成長発達を促す継続的な支援		講義	外部講師*	
第 7 回		重症心身障害児を支える施設内における看護 ・生活支援 ・医療的ケア ・多職種連携		見学	外部講師*	
第 8 回	人生の終末を迎える人の在宅看護 (がん)	多死社会への対応と課題 終末期における在宅療養 ・症状マネジメント ・日常生活援助		講義	外部講師*	
第 9 回		24 時間の支援体制 ・多職種連携と活用できる社会資源		講義	外部講師*	
第 10 回		在宅での看取り ・緊急時の連絡方法、対応		講義	外部講師*	
第 11 回	難病の在宅療養者への支援 (ALS)	難病の在宅療養者と家族の看護 病状の進行に伴う症状と日常生活への影響 ・意思決定支援・急性増悪の早期発見、対応		講義	外部講師*	
第 12 回		・症状に応じた生活の工夫 ・医療機器管理・家族の支援・社会資源		講義	外部講師*	
第 13 回		難病の在宅療養者と家族の講話 ・日常生活の工夫とコミュニケーションツールの実際 ・思いや希望を叶える社会資源		講義	外部講師	
第 14 回	まとめ	在宅療養を支える法律・保険制度と訪問看護 地域共生社会における看護の役割		講義	専任教員*	
第 15 回	評価					
評価方法		筆記				

授業計画

科目名	在宅看護技術		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次	
科目 目標	1. 療養者や家族との信頼関係を構築するためのコミュニケーション技術を理解する。 2. 在宅で暮らす人々の健康生活を支えるために必要な対象のヘルスアセスメント、生活援助技術、医療処置について理解する。						
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>			
第 1 回	在宅看護の基本 技術	関係構築のための基本技術 訪問時のマナー	講義	専任教員 *			
第 2 回		在宅におけるフィジカルアセスメント 生活の場のアセスメント	演習	専任教員 *			
第 3 回		訪問マナーとコミュニケーションの実際 訪問時の観察技術	校内 実習	専任教員 *			
第 4 回	在宅看護におけ る活動と休息・ 清潔援助技術	活動に関するアセスメント 活動への援助技術 移動・移乗介助(睡眠に関するアセスメント)	講義	専任教員 *			
第 5 回		清潔に関するアセスメント 在宅における清潔の援助技術	講義	専任教員 *			
第 6 回		在宅における清潔ケア援助技術 セルフマネジメント力維持・向上支援 Case learning 1 老々介護、身体に障害を持つ療養者 ①	校内 実習	専任教員 *			
第 7 回		移乗・移動の援助技術 Case learning 1 老々介護、身体に障害を持つ療養者 ②	校内 実習	専任教員 *			
第 8 回		在宅看護におけ る食事への援助 技術	食事に関するアセスメント 嚥下機能が低下した人の援助 ・経管栄養法の管理(胃瘻・経鼻・腸瘻) ・中心静脈栄養法の管理(CVポート)	講義	専任教員 *		
第 9 回			経管栄養法の管理 ・胃瘻 ・経鼻	校内 実習	専任教員 *		
第 10 回		在宅看護におけ る排泄への援助 技術	排泄に関するアセスメント 排泄機能が低下した人への援助 ・ストーマの管理 ・膀胱留置カテーテルの管理	講義	専任教員 *		
第 11 回	呼吸・循環に関するアセスメント ガス交換障害と在宅酸素療法管理 換気障害と在宅人工呼吸器の管理		講義	専任教員 *			
第 12 回	在宅での酸素・人工呼吸管理法の実際 ・在宅酸素供給装置 ・在宅酸素ボンベ 在宅 NPPV 療法(マスク陽圧人工呼吸器)		校内 実習	専任教員 *			
第 13 回	在宅で気管切開をしている人への看護技術 ・気管切開部の管理		講義	専任教員 *			
第 14 回	在宅における「気管内吸引」と「気管切開部の管理」の実際(模型使用)		校内 実習	専任教員 *			
第 15 回	評価						
評価方法		筆記					

授業計画

科目名	ケアマネジメント		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 多様な場で暮らす人、療養する人を理解する。 2. 地域包括ケアシステムの中での社会資源活用の方法、多職種連携の実際を事例検討やシミュレーションを通して学ぶ。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	地域看護におけるケアマネジメント	地域看護におけるケアマネジメントとは何か ・ケアマネジメントの概念、歴史、成り立ち ・障害者総合支援法とケアマネジメント ・看護師によるケアマネジメント	講義	専任教員*		
第 2 回		介護保険制度におけるケアマネジメント ・ケアプランとは ・ケアプラン（第 1 表、第 2 表）の作成	演習	専任教員*		
第 3 回		ケアプランの発表	演習	専任教員*		
第 4 回	ケアマネジメントと関係者会議	地域で暮らす人々を支える関係者会議 ・地域ケア会議 ・要保護児童対策地域協議会 ・地域支援会議（精神障害者地域移行支援事業）など	講義	専任教員*		
第 5 回		認知症高齢者の関係者会議の運営方法 各職種からの問題点とアプローチ方法 ・訪問看護師 ・行政職員(障害福祉担当課) ・保健師 ・精神保健福祉センター職員 ・ヘルパー、通所スタッフ等 Case learning 1（認知症）	演習	専任教員*		
第 6 回		模擬関係者会議の運営	演習	専任教員*		
第 7 回	在宅療養に支援が必要な人々のケアマネジメント	地域で暮らす人々へのケアマネジメントの必要性と看護師の役割 困難事例について、地域で生活する人々・支援を必要とする人への理解 ・精神障害者、重症心身障害児など Case learning 2（統合失調症）	講義	専任教員*		
第 8 回	評価					
評価方法		筆記・レポート				

授業計画

科目名	在宅看護の展開		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 事例展開を通して、在宅療養者及び家族の生活環境、価値観や意向、家族介護力や社会資源活用などアセスメントの視点を理解する。 2. 家族を一単位として捉え、強みの強化、課題に対する援助計画の立案ができる。 3. エンパワーメントアプローチを用いて対象の自己決定を促す指導が体験できる。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	在宅看護の特徴 と看護の視点	療養者と家族全体を対象として捉える 医療と生活の両側面を捉える（暮らしがある） 療養生活への希望・自己決定の尊重 エンパワーメントとアドボカシー Case learning 1 事例提示（難病） アセスメントの視点（関連図・生活療養図）	講義	専任教員*		
第 2 回	在宅療養者と 家族の看護展開	Case learning 1 アセスメントの視点：療養者・家族の生活状況 自宅学習課題：関連図・生活療養図作成	演習 講義	専任教員*		
第 3 回		Case learning 1 病態と日常生活への影響 <ul style="list-style-type: none"> ・病態の原因・誘因と予測 ・健康状態と日常生活への影響 ・療養者、家族の関係性 ・療養者、家族の意向 自宅学習課題：療養者、家族の強みと課題抽出	講義 演習	専任教員*		
第 4 回		Case learning 1 療養者、家族の強みと課題の分析 療養者・家族の意向、生活環境、健康状態を踏 まえた援助の検討 学習課題：援助計画（対話、提案を中心に）	講義 演習	専任教員*		
第 5 回		Case learning 1 援助計画の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・療養者、家族の強みを強化（エンパワー） ・課題に対する援助（傾聴、提案、促し） 	演習	専任教員*		
第 6 回	ロールプレイ	エンパワーメントアプローチによる 援助場面のロールプレイとデブリーフィング	演習	専任教員*		
第 7 回	まとめ	学習のまとめ 援助計画の修正、追加	講義 演習	専任教員*		
第 8 回	評価					
評価方法		筆記・レポート				